

St. Paul's Swimming Club Report vol.5

2018年10月 日発行

皆様のご好評につきこの度St. Paul's Swimming Report vol.5発行に至ることが出来ました。

さて9月より新体制となりました。第99代は男子選手14名、女子選手9名、男子マネージャー2名、女子マネージャー6名の総勢31名で活動します。OB・OGの皆様にこれまで以上に応援して頂ける部を目指し、競技面・生活面共に成長できるよう精進して参ります。今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

関東学生選手権(8.4～8.6) @神奈川：横浜国際プール

男子2部2位・1部昇格、 女子1部6位を達成！

関東学生選手権では、多くのOB・OGの皆様、保護者の皆様にお越し頂き、誠にありがとうございました。皆様からの熱いご声援を力に変え、現役部員一同一丸となって挑んだ結果、念願の第98代チーム目標「男子1部昇格、女子1部6位」を達成することができました。

この結果に満足することなく、第99代水泳部一同力を合わせ、更なる高みを目指して参ります。

《得点結果》

男子2部

1位	東海大	175点
2位	立教大	138点
3位	拓殖大	98点
4位	青山学院大	65点
5位	立正大	40点
6位	東京大	37点
7位	帝京大	33点
8位	東京理科大	9点
9位	千葉商科大	2点

女子1部

1位	山梨学院大	130.5点
2位	日本大	124.5点
3位	日本女子体育大	105点
4位	早稲田大	60点
5位	東海大	45点
6位	立教大	38点
7位	桐蔭横浜大	33点
8位	専修大	29点
9位	青山学院大	25点



日本学生選手権(9.7~9.9) @神奈川：横浜国際プール

第98代で挑んだ最後の大会である日本学生選手権には、21名の選手が標準記録を突破し、出場致しました。

本大会に於いて、3年石森瑞奈が女子100m自由形で予選13位・B決勝進出、6位入賞。2年山本健太が男子100m自由形で予選16位・B決勝進出、8位入賞を果たしました。またリレー種目では、男子4×100mフリーリレーで予選15位・B決勝進出、立教新記録で7位入賞。さらに男子4×200mフリーリレーで予選13位・B決勝進出、立教新記録で5位入賞という成績を収めました。

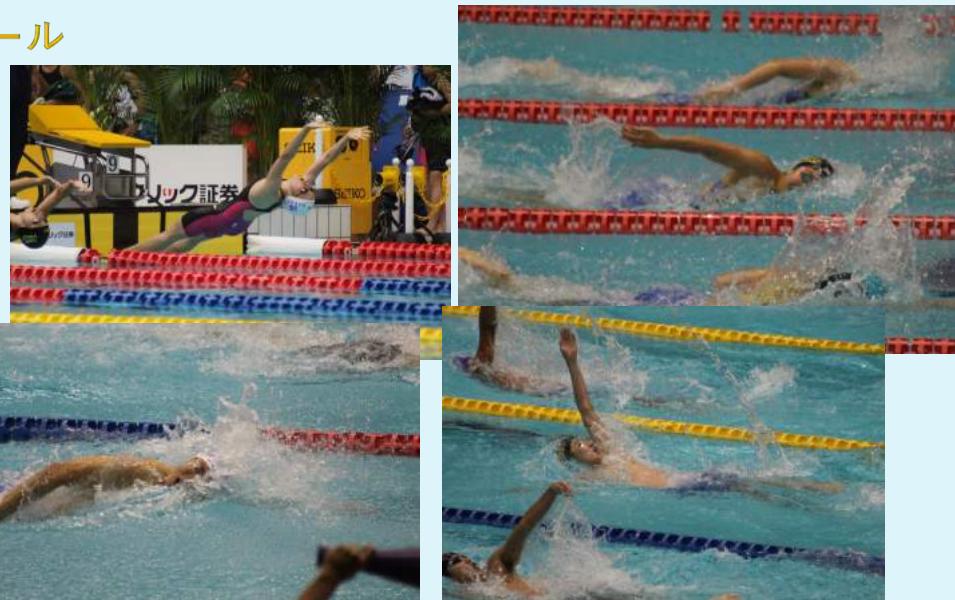
今大会のベストタイム

4年 飯島美咲 100m背泳 1'06"44

3年 高山 凱 100m自由形 51"21

2年 山本健太 100m自由形 50"56(400mFR、第1泳者)

1年 宮坂将也 100m背泳 57"75



多数の立教新記録を樹立致しました！！

〈関東学生選手権〉

3年 高山 凱 200m個人メドレー 2'02"93

2年 山本健太 200m自由形 1'50"64

〈日本学生選手権〉

2年 山本健太 100m自由形 50"56(400mFR、第1泳者)

400mフリーリレー(山本健太—高山凱—久保田直輝—讃岐昂汰) 3'24"41

800mフリーリレー(山本健太—高山凱—久保田直輝—山野哲平) 7'30"75



今後の大会・行事予定

10/13(土) 東京銀行団水上競技大会 @SPAC
(立教大学体育会水泳部合同記録会)

10/20(土) 100周年実行委員幹事会 @池袋キャンパス

10/27(土)~28(日) 世界選手権(25m)代表選手選考会 @東京辰巳国際水泳場

10/31(水)~11/4(日) 秋季合宿 @富山県氷見市

11/9(金)~11(日) FIFAスイミングワールドカップ2018 東京大会 @東京辰巳国際水泳場

11/17(土)~18(日) 第12回東京都選手権水泳競技大会 KOSUKE KITAJIMA CUP @東京辰巳国際水泳場

11/18(日) オール立教スイミングフェスティバル @SPAC

11/20(火)~25(日) 第50回東京スイミングセンタージュニア 優秀選手招待公認記録会 @東京辰巳国際水泳場

11/25(日) フォーミッシュン対抗戦 @SPAC



立教大学体育会水泳部は、2020年に100周年を迎えます。

2018年夏期短期水泳教室(08.08~08.25)

ファミリーデー(08.26)



昨年に引き続き、
泳力検定を各期最終日
とファミリーデー
に実施。



ファミリーデー！
毎年恒例の抽選会
も行いました。

沢山のご協賛、誠にありがとうございました。

2018年度ジャパンパラ水泳競技会(9.22～9.24) @神奈川：横浜国際プール 3年鎌田美希、100m平泳で日本記録を更新！！

リオパラリンピックメダリストを始め、トップアスリートが集結する国内最高峰の本大会に、
3年鎌田美希が100m平泳と100m背泳の2種目に出場致しました。

1日目に出場した100m平泳（SB7クラス）に於いて、予選を自身が2016年3月に樹立した日本新記録（2'00"14）を上回る1'59"29で突破し、決勝は更にタイムを伸ばし**1'58"15**で準優勝（日本人1位）に輝き、**日本記録を更新**致しました。

2日目に出場した100m背泳（S8クラス）では、**1'35"76**で予選を1位通過、決勝は1'35"50で自身が持つ日本新記録には惜しくも及ばなかったものの、**優勝**を果たしました。

目標としていた日本記録の更新を果たし、良い形でシーズンを終えることが出来ました。12月には昨年100m背泳で日本新記録を樹立した、「日本身体障がい者水泳選手権大会」が控えています。この日本選手権に於いても、更に日本新記録を更新することを目標として挑んで参ります。温かいご声援を宜しくお願い申し上げます。



メダルを手にする鎌田(左)と帶同した2年マネージャーの高橋(右)。

第73回国民体育大会(競泳部門：9.15～17 OWS部門：9.12) @福井

「福井：敦賀市総合運動公園」に於いて開催された本大会**競泳部門**に、**3年石森瑞奈（埼玉県代表）、1年繩怜奈（山形県代表）**が出場致しました。2名の選手は個人競技だけでなく、リレーメンバーにも選出され、各県代表として活躍を見せました。中でも**3年石森が400mメドレーリレー**に出場し、見事3位入賞を果たし、表彰台に上りました。

また「福井：若狭町食味海岸」に於いて開催された本大会**オープンウォータースイミング(OWS)部門**に**1年田淵晴夏（岡山県代表）**が選出され、女子5キロメートル競技に出場致しました。全国から集まったレベルの高い選手と競い合い、過酷な環境の中で見事完泳しました。結果は1時間10分34秒6で31位でした。



3位入賞を果たした400mメドレーリレー、埼玉県代表メンバー。左から3番目が石森。

第94回OWS日本選手権水泳競技大会(9.23) @千葉：館山市北条海岸

オープンウォータースイミング(OWS)とは、海や川、湖といった自然の水の中で行われる長水路水泳競技です。**3年木住野将史、2年大久保美沙**の昨年度出場者を筆頭に、**2年滝澤健次、1年浅野貴臣・田淵晴夏**の初出場者を含めた5名が、男女ともに10キロメートル競技に挑みました。また3年岡本怜、2年岩田萌里、1年安達瑛大が給水スタッフとして帯同し、立教大学チーム一丸となって臨みました。

自然条件が大きく影響する為、競泳とは違った技術や知識が必要な中で、見事5名全員が完泳することが出来ました。今回の経験をきっかけに視野を広げることができ、出場者一同、来年度の本大会出場へ意欲を見せました。



夢創

☆関東学生選手権 男子1部6位、女子1部5位

☆日本学生選手権 リレー種目A決勝進出、

男子30得点

第99代水泳部のスローガンは『夢創（むそう）』です。「インカレ上位で無双する」という夢に向かい、「強いチームを新たに創る」という意味が込められています。また、チーム目標は、今年より関東学生選手権と日本学生選手権の両大会に向けて、「**関東学生選手権男子1部6位、女子1部5位**」「**日本学生選手権リレー種目A決勝進出、男子30得点、女子25得点**」の2つを掲げます。

立教大学体育会水泳部らしいチームを部員全員で作り上げて参ります。皆様のご期待に沿えるよう精一杯努めて参りますので、変わらぬご指導・ご鞭撻、またご声援の程、宜しくお願い申し上げます。



99代主将 久保田 直輝

昨年度は部の目標でありました男子1部昇格、女子1部6位を達成することができ、部として良い形でシーズンを終えられました。この流れを引き継ぎ、99代でも更に部を強く、そして上位校とも対等に勝負していく様にしたいと考えています。もちろん、立教大学体育会水泳部の特色である文武両道+αも大切にしていきます。水泳、学業、+α全てにおいて全力を尽くし、立教らしいチームを作り上げたいと考えています。そのために、私は主将として部員一人一人と向き合い、それぞれの個性を活かせるようなチーム作りに取り組んで参ります。まだまだ未熟ではありますが、精一杯努力させていただきますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



99代女子主将 石森 瑞奈

今年の関東学生選手権では男子・女子共にチーム目標を達成し、99代では男女揃っての一部昇格が実現できました。先輩方が築いてくださった功績をさらに発展させるべく、チーム全員が一部で戦うという強い決意と実力、気力が必要になると考えています。また、2018年度の日本学生選手権では男子400m、800mフリーリレーにおいてB決勝進出を果たしたことから、来年度は女子チームからも個人の得点獲得はもちろんのこと、リレー種目の得点獲得も視野に入れていきたいと思います。その為、女子主将として競技力、人間力の面からチームを牽引していく覚悟です。99代は立教大学体育会水泳部として一つの節目となる年と考えています。そのような年に最高の成績を収められるように全身全霊を賭けてチームの強化に努めていきます。

主務

チーフマネージャー

男子副将

男子副将（水泳教室責任者）

男子副将（練習担当）

男子副将（体育会本部）

女子副将

女子副将（勸誘責任者）

竇長

O B · O G 涉外

H P

企画

副務
学連
大会

合宿

怜小萩平智史希すか
凱哲大将美あ壽大健壽拓萌哲美貴陸清萌生清小涼幸
岡渡高山野藤住田木鎌谷内上藤本上戸田野久野平高岩荒高渡高釜
邊山伊藤木上溝伊山溝折岩山大浅平高松田川松邊橋谷